

## 日本地域政策学会 第4回全国研究〔宮城〕大会 大会テーマ「少子高齢社会における地域政策」

### 1 大会テーマおよびシンポジウムについて

日本地域政策学会は、自治体をはじめコミュニティやNPO、住民など、多様な主体が参画する地方主権の地域づくりに関する、理論と実践の融合を目指す新たな学問領域の開発を目指して設立された。これまで「地域政策学の基本課題」（第1回大会）、「地域再生と市民・自治体の役割」（第2回大会）、「地域の自立と活性化」（第3回大会）をテーマに、「地域政策学とは何か」「地域づくりの主体は誰か」「地域活性化とは何か」といった、基本的な問題点を検討してきた。

こうした中、第4回を迎える今回の全国研究〔宮城〕大会では、日本社会が直面する「少子高齢化」という現実をテーマに掲げ、地域社会・地域政策の課題と方向を検討する。それは周知のように、この「少子高齢化」という日本社会の枠組みが、従来の社会システム全体を大きく変化させる重大かつ基本的な要因だからである。労働人口の減少が国の税財源・社会保障・産業構造はもちろん、地域経済・地域社会のあり方を大きく変化させることをみただけでも、そのことは理解できよう。問題は、こうした社会の根幹に関わる変化の中で、それぞれの地域においても少子高齢社会に対応した新たな地域づくりの枠組みが必要とされていることである。シンポジウムでは以下の報告を予定している。

#### （1）少子高齢社会がもたらす地域政策の課題ー包括的検討と論点整理ー

少子高齢社会が地域社会に対してどのようなインパクトを与え、どういった新たな政策課題を自治体やコミュニティ等に求めることとなるのか、今後の地域政策の課題について包括的に検討し、地域政策における論点を整理するもの

#### （2）少子高齢社会の地域産業政策ー地域産業政策の新たな枠組みー

産業政策のレベルで、少子高齢社会に対応する新たな政策として、どのような取り組みが実施され、どのような問題点が浮かび上がっているのか、現実の姿を通して、政策課題を提起するもの

#### （3）高齢者と地域づくりー高齢者の地域づくり活動ー

高齢者に焦点を当て、高齢者がどのように地域づくりに参画し、地域社会の担い手として位置づけられるべきか、取り組みを通して問題提起するもの

#### (4) 子育て支援と地域づくりーコミュニティによる子育て支援ー

少子化対策の一環である子育てに焦点を当て、自治体レベルの政策のみならず、コミュニティやNPO等の各種団体にも注目し、実態を通して今後のあり方を検討するもの

総合討論では、自治体政策レベル、産業や福祉等の各種政策レベル、NPOやボランティアなど、地域政策に関わる多様な参加者による活発な討論が行われることを期待したい。

- |       |  |
|-------|--|
| 2 日 時 | 平成17年7月9日(土)～10日(日)                          |
| 3 会 場 | 宮城大学   |
| 4 内 容 | ・宮城県知事 浅野史郎氏講演<br>・シンポジウム<br>・個人研究発表<br>・分科会 |